

氏名： 椎尾 一郎 (SIIO Itiro)
所属： 人間文化創成科学研究科先端融合系
学位： 工学博士／ Ph. D.
職名： 教授
専門分野： ヒューマンインタフェース
URL： <http://www.siiio.jp/>
E-mail： siiio@acm.org

◆研究キーワード / Keywords

ヒューマンコンピュータインタラクション／ヒューマンインタフェース／ユビキタスコンピューティング／日用品としてのコンピュータ／ユーザインタフェース

Human Computer Interaction / Human Interface / Ubiquitous Computing / Everyday Computing / User Interface

◆主要業績

総数（20）件／特許（1）件

- ・ 沖 真帆, 塚田 浩二, 栗原 一貴, 椎尾 一郎, イルゴール：家庭を奏でるオルゴール, インタラクション 2008 論文集, 情報処理学会シンポジウムシリーズ, ISSN 1344-0640, Vol. 2008, No. 4, pp.177--178, 2008.3.3-4.
- ・ 岩渕 絵里子, 椎尾 一郎, 電脳化粧鏡：メイクアップを効果的に支援するための電子的な鏡台, インタラクション 2008 論文集, 情報処理学会シンポジウムシリーズ, ISSN 1344-0640, Vol. 2008, No. 4, pp.191--192, 2008.3.3-4.
- ・ 森 麻紀, 栗原 一貴, 塚田 浩二, 椎尾 一郎, いろどりん：食卓の彩り支援システム, 電子情報通信学会技術研究報告, IEICE Technical Report, MVE2007-79 (2008-01), ISSN 0913-5685, Vol. 107, No. 454, pp. 69-72, 2008.1.25.
- ・ Itiro Siio and Reiko Hamada and Noyuri Mima, Kitchen of the Future and Applications, HCI International 2007, LNCS4551, pp. 946--955, 22-27 July 2007, Beijing, P. R. China.
- ・ Hitomi Tsujita, Koji Tsukada, Itiro Siio, SyncDecor: Appliances for Sharing Mutual Awareness between Lovers Separated by Distance, CHI 2007 Conference Proceedings and Extended Abstracts, Conference on Human Factors in Computing Systems, pp.2699--2704, April 30- May 3, 2007, (San Jose, USA)

◆研究内容 / Research Pursuits

コンピュータが小型、安価になることで、日用品としてのコンピュータ利用が今後ますます進展すると予想されています。このようなコンピュータ利用形態をユビキタスコンピューティングと呼んでいます。近未来においては、ユビキタスコンピューティングの実現により、家庭でのコンピュータ利用がますます進展すると考えられます。そこで家庭において、一般の生活者が必要とするコンピュータの実現をめざし、以下の研究課題に取り組んでいます。この結果を実装し、実験する目的で、お茶の水女子大学小石川職員住宅跡地に、最新の実験住宅を建設しています。

- (1) ユビキタスコンピューティングのアプリケーションの提案（例えば、キッチンやリビングや家具／日用品などに組み込まれたコンピュータにより、調理支援、探し物支援などの生活支援、遠隔地とのコミュニケーション支援などを実現します）
- (2) 情報家電や日用品に組込まれたコンピュータ利用のための新しいインタフェース手法の提案
- (3) 生活者の行動分析とこれに基づくアプリケーションの提案
- (4) 家庭における高齢者支援やリハビリテーション支援
- (5) コンピュータやネットワークの進化に対応する新しい住宅の提案
- (6) 自然と共生する機能をもつ IT 住宅

In the near future, we will be using many single purpose information appliances equipped with ubiquitous, invisible computers. At that time, house will be the most important place for computer developers to deploy ubiquitous computers. We are building an experimental house for ubiquitous computing. The house is designed to live in symbiosis with computers, sensors, and networks. We are developing computer-augmented furniture, decors, and house fixture to realize ubiquitous computing applications at home.



◆教育内容 / Educational Pursuits

人と人工物とのインタラクションを考え、使いやすいコンピュータを実現するための考え方を学ぶヒューマンコンピュータインタラクションの授業と、使いやすいコンピュータアプリケーションを開発するためのマルチメディアプログラミングの授業を担当しています。また、卒業研究と大学院では、生活の中で使われるユビキタスコンピューティングアプリケーションを実装し評価する研究を指導しています。

I am teaching human computer interactions and multimedia programming development. In the laboratory, students are developing various ubiquitous computing applications for everyday life of the future.

◆研究計画

家電製品のみならず、家具、日用品、建具、家、建材など、いままでコンピュータとは無縁だったありとあらゆる身の回りの物に、コンピュータ、センサー、ネットワークが入ることで、今までにない新しいコンピュータアプリケーションが実現されると考えています。コンピュータメーカ、通信サービス、家電メーカのみならず、日用品、家具、建材、ハウスメーカなど、さまざまな分野のパートナーと共同研究が可能であると考えています。

◆メッセージ

ユビキタスコンピューティングの分野では、生活に密着したアプリケーションが主体になります。そこで、女性の視点に基づいたユニークな発想が求められています。情報科学分野の中でも女性の活躍がもっとも期待されている分野であると言えます。情報科学と生活科学の両方を得意とする本学は、この分野の女性研究者、女性技術者の育成を積極的に進めていきます。